


I C T 学習教材コンテンツ活用実践事例

		学校名	県立八戸聾	学校
授業について	教科領域名 (✓又は■で記入する。)	<input checked="" type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 算数・数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 外国語・外国語活動 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作・美術 <input type="checkbox"/> 体育・保健体育 <input type="checkbox"/> 技術・家庭 / 職業・家庭 / 職業 / 家庭 <input type="checkbox"/> 特別の教科 道徳 <input type="checkbox"/> 総合的な学習（探究）の時間 <input type="checkbox"/> 日常生活の指導 <input type="checkbox"/> 生活単元学習 <input type="checkbox"/> 作業学習 <input type="checkbox"/> 遊びの指導 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> 自立活動 <input type="checkbox"/> その他（ ）		
	単元(題材)名	「漢字に親しもう」		
	単元(題材)の目標	当該学年に配当されている漢字を書き、文や文書の中で使うことができる。		
学習集団と実態	学部・学年・人数	小学	部	3 年 3 人
	本単元(題材)における学習集団の主な実態	<ul style="list-style-type: none"> ・補聴器を活用し、聴覚口話によりコミュニケーションをとることができる。 ・経験したことや感じたことを、話すことができる。 ・語彙数は少ないが、自分なりの考えをもち、発表や説明をしようとするすることができる。 ・語と語のつながりや言葉遣いを間違えることはあるが、イラストを見て、文章を想像することができる。 		
I C T 活用について	使用した支援機器・教材の名称	タブレット		
	使用したアプリケーションの名称	<ul style="list-style-type: none"> ・Google classroom ・カメラ 		
	主な活用の用途 (✓又は■で記入する。)	(複数選択可能) <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション支援 (■意思伝達支援 <input type="checkbox"/> 遠隔コミュニケーション支援) <input checked="" type="checkbox"/> 活動支援 (□情報入手支援 ■機器操作支援 <input type="checkbox"/> 時間支援) <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援 (■教科学習支援 <input type="checkbox"/> 認知発達支援 <input type="checkbox"/> 社会生活支援) <input type="checkbox"/> 実態把握支援		
	I C T 活用のねらい	児童が自分で書いた漢字や簡単な文章を、タブレットで撮影してテレビに拡大表示し、共有することができる。		
活用の状況と支援	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が書いたワークシートを画像にとり、拡大表示して、見ながら発表できた。 ・タブレットで漢字の読み書きを確認できた。 ・教科書やそれぞれの机上での活動を黒板に提示することで、情報を共有しながら活動することができた。 ・机上の活動を iPad で撮影し、その様子を共有するために iPad を活用した。 ・ケーブルの長さで移動範囲が制限されるため、次回は無線での操作も考えていきたい。 			